

# 「居場所」の運営

## 目的

経済的な理由などにより様々な困難を抱える子ども・若者にとって、学校や家庭以外で安心できる居場所（フリースペース・学習スペース）を設置することにより、子どもの社会的孤立の防止を図る。

## 事前準備

### ■ 設置場所の決定

利用者の見守り、学習支援及び悩み相談への対応を考慮し、鹿児島県青少年育成県民会議やかごしま子ども・若者総合相談センターが設置されている県青少年会館2階に決定した。

### ■ 名称の決定

子どもや若者が家庭や学校以外で安心して“ホッと”して過ごせる場所になるよう、「子ども・若者ホッとスペース」にした。

### ■ 利用者の設定

- ・ 概ね小学生から30歳代まで
- ・ “様々な困難を抱える子どもや若者”を対象としているが、ターゲットを絞るのは難しいため、まずは入口を広げて多くの子どもや若者が利用できるようにした。

### ■ スペースの利用内容の決定

- ① フリースペース・・・読書やゲームなど、自由に過ごせる場所
- ② 学習スペース・・・勉強等ができる場所
- ③ 悩み相談・・・悩みごとで困っている利用者がいたら、かごしま子ども・若者総合相談センターと連携し対応

## 設 営

### ■ フリースペース (28.05㎡)

- ・ 一人でも使えるカウンターテーブルや何人が集まって話ができるミーティングテーブルを設置（準備した備品等）
- ・ カウンターテーブル、ミーティングテーブル、ロビーチェア、観葉植物



フリースペース

### ■ 学習スペース (20.25㎡)

- ・ 8席の学習スペースにデスクライトとプライバシーパーティションを設置（準備した備品等）
- ・ 平机、パーティション、デスクライト、観葉植物



学習スペース

### ■ その他

- ・ Wi-Fi・電源の完備
- ・ 図書コーナー（絵本・図鑑・辞書等）の設置
- ・ グリーンパーティションの設置

## 運営内容

### ■ 見守り支援

- ・ 利用者が過ごしやすい雰囲気づくりに努めた。(テーブルゲーム、目標宣言カード、本日のスタッフ紹介等)
- ・ 挨拶・声かけ“ここに居るから困ったことがあったら声をかけてね”など、子どもや若者たちとの関係づくりに努めた。

### ■ 学習支援

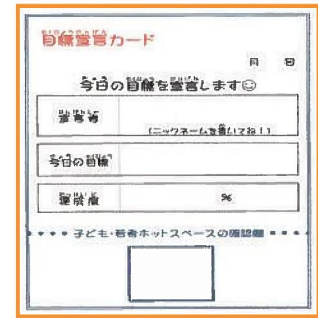
- ・ 8月から2月まで、学生サポーターを土曜または日曜の午後(13時から17時)に配置し、学習支援を行った。

### ■ 相談対応

- ・ 悩みを抱えた利用者がいた場合は、かごしま子ども・若者総合相談センターと連携し、相談につないだ。
- ・ 悩み相談、フリースクール、就労等に関する情報を提供した。

### ■ 工夫した点

- ・ 照明、ガーランド、イスの配色を考え、明るい環境になるよう心がけた。
- ・ 気軽にスタッフに声をかけられるようにスタッフ紹介パネルを設置したほか、スタッフはイラスト入りの名札を付けて対応した。
- ・ 一人でも利用しやすいようにカウンターテーブルを設置した。
- ・ Wi-Fiや電源プラグを取り付けた。
- ・ スペースは外から見えずぎず、また死角にならないようにグリーンパーティションを設置した。
- ・ 学習スペースには、可動式パーティションを設置し、個々のスペースを確保できるようにした。
- ・ 一般の利用者とホッとスペースの利用者が混在しないように観葉植物やガーランドで仕切りを作った。



目標宣言カード



学生サポーターの案内



相談センターの紹介



グリーンパーティション

## 広報周知

### ■ 学校・近隣施設への周知

鹿児島市内の中学校・高等学校、鴨池公民館、市立図書館、県社会福祉センター等

### ■ 広報紙、HP等への掲載

県民会議HP・広報紙、地域コミュニティ誌

### ■ マスコミによる取材

MBC南日本放送、KKB鹿児島放送、南日本新聞、毎日新聞

### ■ その他

案内ボードの設置、イベントやかごしま子ども・若者総合相談センター利用者への案内

